

平成 28 年度第 2 回佐久市スポーツ推進審議会 会議録（要約）

日 時：平成 28 年 9 月 21 日（水）

午後 7 時 00 分～8 時 00 分

場 所：佐久市総合体育館 会議室

出席者 8 名

欠席者 1 名

事務局 5 名

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）佐久市スポーツ推進計画（仮）パブリックコメントについて

（2）佐久市スポーツ推進計画（仮）素々案について

（3）その他

4 閉 会

【質疑・意見等】

（2）佐久市スポーツ推進計画（仮）素々案について

（委 員） 総合型スポーツクラブの面から、5P に住民が主体的に参画する地域のスポーツ関係にいくつか載せてありますが、先般、東信地区の地域スポーツクラブの集会が行われました。小諸、小海、御代田、軽井沢、上田等が集まり、ここで、学校の連携とか行政との総合型の関わり合いについて議論があった。一昨年から行われているが、佐久市の教育関係者が参加されていないことが残念であった。こういった場面に、市と地域との関係をつなぐ身としては理解してもらいたいし、理解を深めてほしい。今後はせっかくのいい内容のものを全般的に上げてもらっているので、出来るだけ協力していただき、タイアップしていただき、垣根のない活動ができればと思っている。今回もちづき総合型のプランも市のス

ポーツ教室を委託していただき、運営面で助かっている。今後も充実した形をとっていただけるようお願いしたい。岸野スポーツクラブも同様に、民間で立ち上げていく中で、10年たっても7割の方が知らないということが続いているので、ぜひ協力し合える体制をとっていただきたい。

(事務局) アンケート結果でも、その地域ではない方は存じ上げない人の方が多いという中で、自分たちでやってみようと思う発想に至らない部分があるかと思う。こういったことを市内全体に情報発信することで、自分達でもやってみようとかという動きも出てくるかと思うので、周知活動をしていく。行政、学校関係者との協力体制について今後も学校側にお声掛けができる場面では随時伝えていきたいと思います。

(事務局) 望月と岸野には地域総合型がありますが、旧佐久地域、臼田地域については、公民館活動として地域住民でのコミュニティでのスポーツ振興を図っています。その辺の兼合いを考慮しつつ、また、東地区については東体協支部としてスポーツ大会等の振興を図っている状況があります。総合型に限らずいろいろなスポーツ活動を推進している団体があるので、そういったところも含めて周知していく。スポーツ推進委員も個人として委員会としていろいろなスポーツ活動をしていらっしゃるのいろいろな活動を紹介していったほうが良いかと思います。

(委員) 総合型の話が出ましたが、各地区に行けばそれらしい活動は行っている。ただし、総合型にするとどうしても目立たない。作ろうと思っても固まってしまうとどうしてもできないという問題がある。それなりのやり方で各地区は活動している。もう一点、素晴らしい陸上競技場ができているので、これからの国際大会、全国大会等、オリンピックも近々あるので、観光協会などとタイアップして、宿泊施設等の環境についても考えて進めていけると良いかと思います。

(事務局) スポーツによる健康で賑わいのあるまちづくりの中に交流人口の創出に関わって観光協会との連携についてうたわせていただきたいと思えます。

(委員) 子どものスポーツ機会の充実について、佐久市の特徴が乗っておらず、都心部の内容のように感じます。佐久市の特徴としたら、山間農村であり、野山がふんだんにあり、千曲川も流れている。運動の機会といったら、体育館施設でのスポーツ以外にも、自然のフィールドで野山を駆け

回るような機会も子どもたちには大切なのではないかと感じます。佐久は山も深くなくいい場所がたくさんあるので、スポーツの機会について直接自然を感じることから運動発達につながっていくことが筋ではないかと思う。こういった佐久市の素晴らしさを案に盛り込んでほしい。

もう一点、佐久市の自然環境ですが、冬が寒いということで、屋外スポーツについてインドアの施設や、屋根のある施設等がもう少しあればよい。雪が降ったり、凍ったりするので利用できないことがあるので、1年中使える施設を増やしていただきたい。

もう一点エストニア共和国のバルト関を招いて、関係を築いていってみてはどうか。

(事務局) 3点いただきました。佐久の特徴である自然を使った子どもの運動する機会の創出について、授業の中で可能かどうか学校にも確認する必要がある。体育以外の場面で可能かもしれないので、学校に伝えていきたいと思います。2点目の冬が寒いことからインドアスポーツの推進や施設の充実についても今の老朽化している施設の維持管理等含めて考えていかなければならないと考えています。3点目のエストニア共和国との交流につきましてはバルト関とありましたが、観光交流の方でもエストニアとの交流について考えているところではあり、そういった案もいくつかあるようなので、貴重なご意見として施策に盛り込ませていただきたい。

(委員) エストニアは事前合宿に来るのか。うわべだけでやっても来るかもしれないが危ない。行政の上の人たちが本気になって進めなければいけないと感じる。

もう一点、望月の総合型に何度か足を運んだことがあるが、活動が素晴らしい。なぜこういったことができるのかは指導者が充実しているからだと感じた。岸野さんも同様に親身になって指導している。他の団体でもこういった指導ができればいいと思う。

(事務局) この春に平尾山公園のフィールドアスレチックが20数年ぶりに更新されたので紹介できればよいと思う。自然の野山というのは私たちが幼いころは、ロープを使ったり、傾斜地を走り回ったりと遊びの中から体力づくりができていた。そういったことについて貴重な意見をいただいた。

もう一点、冬が寒いということですが、グラウンドが12月から3月まで状態が悪くなってしまうので使用ができないようになっていきます。アウトドアのスポーツが体育館を使うようになるので、インドアと競合してしまい利用機会が減ってしまう現状である。冬でも外でできるような仕様の材料を視野に検討する必要があるかと思えます。陸上競技場の補助競技場については人工芝なので年間を通して利用することができます。そういった施設とのバランスについても考えていく必要があると思えます。

また、望月総合型でとても活気のある、お年寄りから、お子さんまで一緒にスポーツをする場面を拝見しているの、いろいろな場面で生かしていきたいと思えます。」

(委員) 健常者については理解があるが、障がい者の方はどこに行ってもどんな利用をして、どんな団体があるかという紹介はあるか。

(事務局) ある NPO 法人では、体育館で車イスバスケットを行っていたり、雨宮病院のリハビリ科の皆さんがスポーツによる障害予防として市内のスポーツ団体に向けて活動しています。

(委員) 養護学校の生徒は募集があるが、学校の中の支援学級の子らには運動がやりたいという場所がないので対策をとっていただければ活動の場が広がるかと思う。

(事務局) お子さんが運動することによってコミュニケーションが取れるというような活動を行っているの、施設情報も含めて提供していくことも可能です。

(委員) 我々は多業種で良いのが、いろいろな見方ができることが大事なのでそういった意見がこのスポーツ計画に盛り込めると良いと思う。